

新技術 常時被覆無灌水の簡易乳苗育苗（ベタ掛け乳苗）

宮城県古川農業試験場

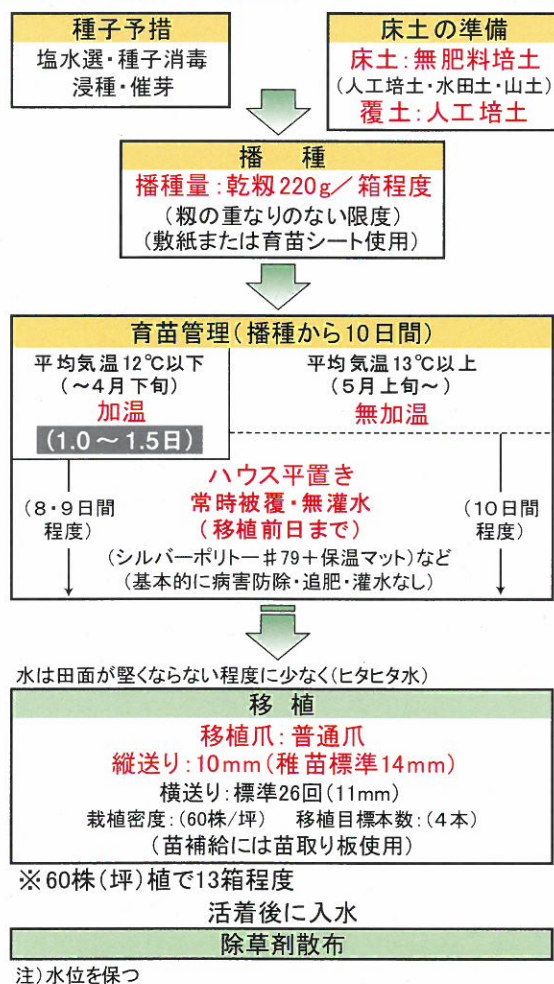
慣行培土を利用した機械移植可能な苗丈・マット強度を有する乳苗の短期育苗法として、ハウス平置きでの常時被覆・無灌水とする簡易な育苗法（通称：ベタ掛け乳苗）を開発（2009年）。

ポイント

- ① マット強度・・・無肥料床土を利用し、播種量は
乾粃220g/箱（粃重なりの限界）
- ② 10日程度で8cm以上の苗丈（第1葉鞘高が5～6cm程度）
・・・覆土は肥料の入った慣行培土を利用する。
・・・5月播種では無加温出芽が可能、4月播種では出芽器を使用して加温
・・・被覆資材を常時被覆して保湿状態
- ③ 苗は慣行の移植爪で移植可能で、
所要箱数の3～4割程度の削減が可能
- ④ 10日間で育苗するため温湯消毒だけで無農薬育苗が可能



温湯消毒＋簡易乳苗（常時被覆）で減化学肥料、無農薬育苗 必要箱数を慣行の1/3削減した低コスト省力移植栽培に



留意事項

- 1) 育苗期間が10日間以上が想定される場合は、リゾプス菌対象に殺菌剤灌注が必要
- 2) 積重加温では、積重期間が長いと根が伸び箱同土が結合するので加温期間を厳守する
- 3) ハウス内の置床は、水がたまらない条件とし敷物も透水性のあるものを使用する
- 4) 箱内が乾かないように被覆資材の端を押さえる
- 5) 育苗期間10日以上では被覆を剥ぎ通常管理とする



簡易乳苗育苗の作業フロー

【お問い合わせ先】

宮城県古川農業試験場 〒989-6227 宮城県大崎市古川大崎字富国88
 e-mail : hknosi@pref.miyagi.jp http://www.pref.miyagi.jp/hk-nousi/
 水田利用部 電話：0229-26-5106 FAX：0229-26-5102



環境に優しい大豆油インキと再生紙を使用しています。